

第2章 胎内市の現状

- ・胎内市では人口が減少している中、世帯数は微増傾向で、1世帯あたりの人員が減少していますが、県の2.72人（H27年）よりは多い状況です。
- ・一般世帯における単独世帯、核家族世帯、高齢者のいる世帯の割合はいずれも増加しています。
- ・年齢（3区分）別人口は、高齢者人口が増加傾向にあり、県と比較すると高い状況にあります。
- ・産業別にみた就業者の割合は、一次産業の就業者が県と比較すると高い状況ですが、農業経営体数は減少しています。

1. 家族状況の変化

胎内市では1世帯あたりの人員が減少し、単独世帯や核家族世帯が増加しており、以前より食文化や食事のマナーの伝承が困難になっていると考えられます。

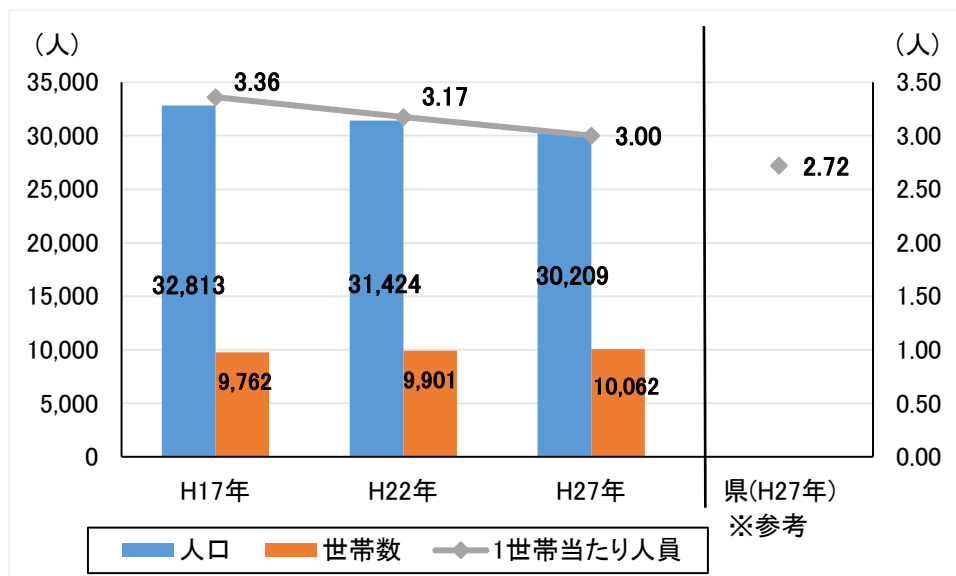
表 世帯数及び1世帯あたり人員の推移

(単位：人、世帯)

	H17年	H22年	H27年	県(H27年)
人口	32,813	31,424	30,209	2,305,098
世帯数	9,762	9,901	10,062	848,199
1世帯あたり人員	3.36	3.17	3.00	2.72

(国勢調査 H17年は中条町、黒川村の合算値)

図 世帯数及び1世帯あたり人員の推移



2-1. 一般世帯の家族類型別世帯数の変化

一般世帯における単独世帯、核家族世帯の割合はどちらも増加傾向にあります。しかし、その割合は県と比較するとどちらも低くなっています。

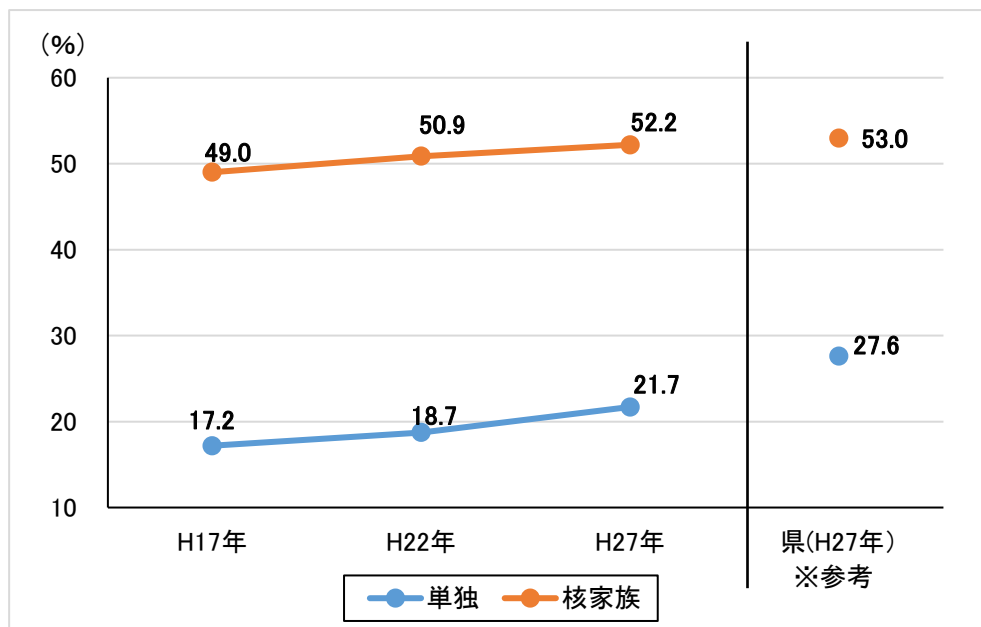
表 一般世帯における単独世帯、核家族世帯の推移

(単位：世帯)

	H17年	H22年	H27年	県(H27年)
単独世帯	1,672	1,848	2,172	233,617
核家族世帯	4,766	5,020	5,226	448,286

(国勢調査 H17年は中条町、黒川村の合算値)

図 一般世帯における単独世帯、核家族世帯の割合の推移



※単独世帯、核家族世帯とは…

単独世帯：世帯人員が一人の世帯のこと

会社などの独身寮や間借り・下宿屋などの単身者も含む

核家族世帯：夫婦のみの世帯と夫婦と子どもからなる世帯のこと

2-2. 高齢者世帯の家族類型別世帯数の変化

前期高齢者、後期高齢者のいる世帯数どちらも増加しており、一般世帯に占める 65 歳以上の世帯員の割合は県の 50.8%より多い状況にあります。

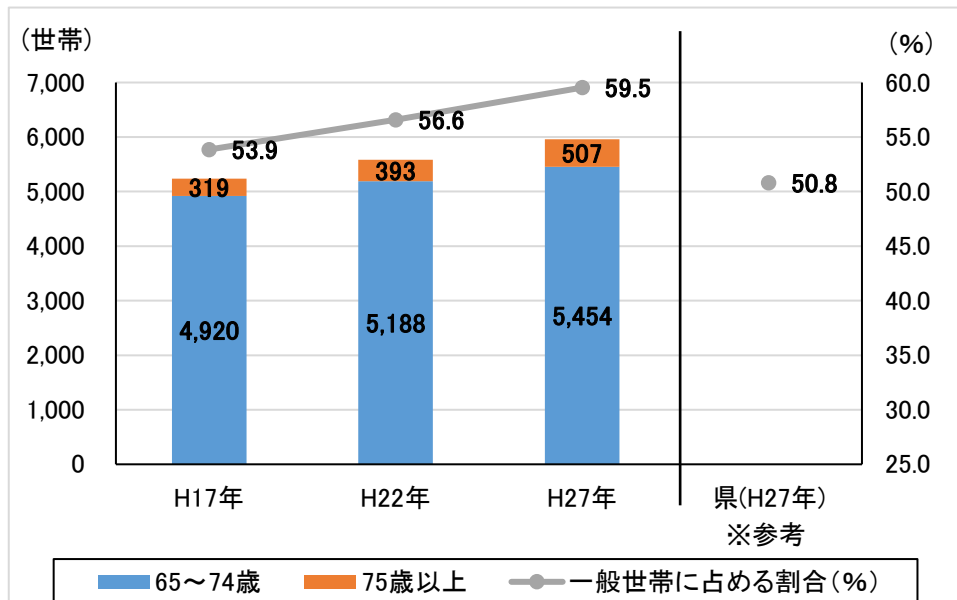
表 高齢者がいる世帯数、一般世帯に占める割合の推移

(単位：世帯)

	H17年	H22年	H27年	県(H27年)
前期高齢者がいる世帯	4,920	5,188	5,454	384,424
後期高齢者がいる世帯	319	393	507	45,610
一般世帯に占める割合(%)	53.9	56.6	59.5	50.8

(国勢調査 H17年は中条町、黒川村の合算値)

図 高齢者がいる世帯数、一般世帯に占める割合の推移



※高齢者、前期・後期高齢者とは…

高齢者：65歳以上の人のこと

前期高齢者：高齢者のうち65~74歳の人のこと

後期高齢者：高齢者のうち75歳以上の人のこと

3-1. 年齢（3区分）別人口割合の変化

年齢別の人口割合は、年少人口は横ばい傾向ですが、生産年齢人口が減少し、高齢者人口が増加しています。高齢者人口は県より高い割合になっています。

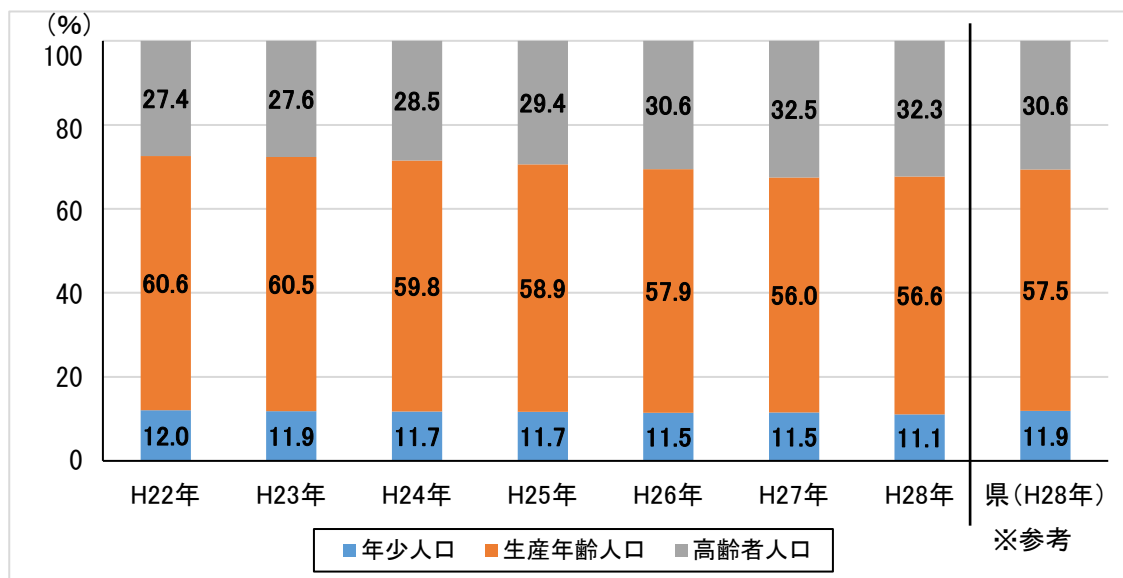
表 年齢（3区分）別人口の割合の推移

(単位：%)

	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	県(H28年)
年少人口	12.0	11.9	11.7	11.7	11.5	11.5	11.1	11.9
生産年齢人口	60.6	60.5	59.8	58.9	57.9	56.0	56.6	57.5
高齢者人口	27.4	27.6	28.5	29.4	30.6	32.5	32.3	30.6

住民基本台帳（各年10月1日現在）

図 年齢（3区分）別人口の割合の推移



※年少、生産年齢、高齢者人口とは…

年少人口：0～14歳までの人口

生産年齢人口：15～64歳までの人口

高齢者人口：65歳以上の人口

3-2. 産業別人口

産業別に見た就業者の割合は、自然や食と関わりの深い一次産業への就業者が県と比較すると高い割合になっています。

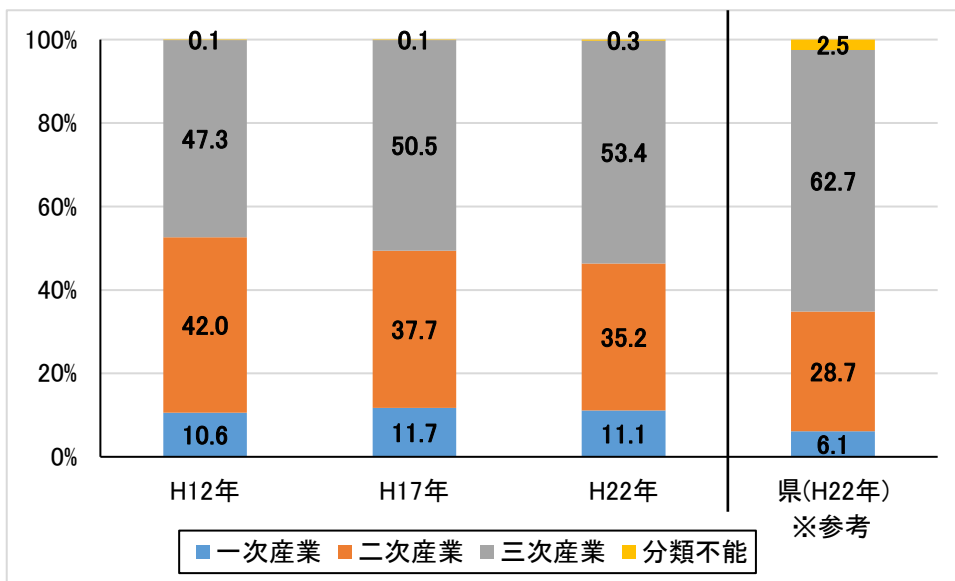
表 産業別就業人口の推移

(単位：人)

	H12年	H17年	H22年	県(H22年)
就業人口	17,104	16,201	15,234	1,155,795
一次産業	1,812	1,903	1,685	70,680
二次産業	7,182	6,113	5,360	331,725
三次産業	8,096	8,176	8,146	724,632
分類不能	14	9	43	28,758

(国勢調査 H17年は中条町、黒川村の合算値)

図 産業別就業人口の割合の推移



※一次、二次、三次産業とは…

一次産業：農業、林業、水産業など人間が自然に働きかけて営む産業

二次産業：製造業・建設業など材料を加工して工業製品をつくる産業

三次産業：飲食・サービス業など一次産業にも二次産業にも分類されない産業

4. 農業経営体数

農業経営体数は減少しており、平成 27 年の農業に従事する男性は、年齢別で見ると 60 歳代が一番多く、その次が 50 歳代となっています。

表 農業経営体数の推移

(単位：戸)

	H17 年	H22 年	H27 年
戸数	2,084	1,527	1,319

(農業センサス H17 年は中条町、黒川村の合算値)

図 農業経営体数の推移 (男性)

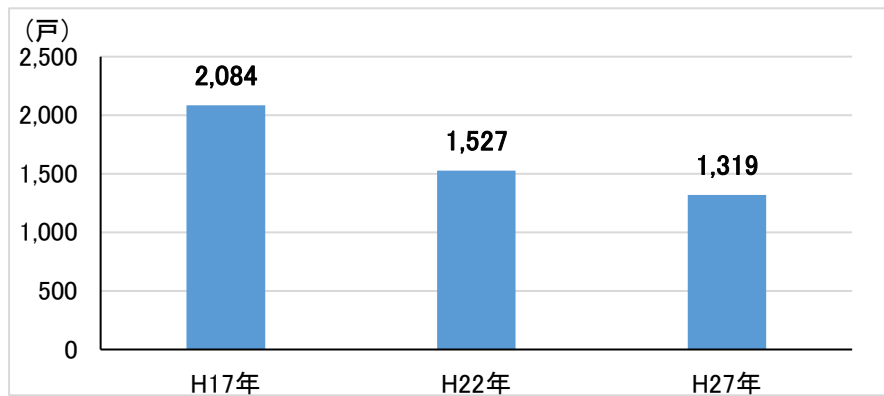


表 年齢別農業経営者数

(単位：人)

年齢	15～29 歳	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳代	80 歳以上
人数	3	18	66	300	494	254	66

(H27 年農業センサス)

図 年齢別農業経営者数

